

満濃池初開抜式典 ～国営事業・農業農村整備事業をPR～

＜四国土地改良調査管理事務所・香川用水二期農業水利事業所＞

令和元年6月15日（土）に、先人の偉業と池神様に感謝し併せて配水の安全と五穀豊穡を祈願するため、香川県まんのう町の神野神社にて「満濃池初開抜式典（まんのういけはつゆるぬきしきてん）」が、満濃池土地改良区の主催により開催されました。

満濃池は、貯水量1,540万トン、満水面積138.5haの規模を誇る日本最大級のかんがい用ため池であり、2市3町（丸亀市、善通寺市、多度津町、琴平町、まんのう町）の田畑を潤しています。

また、平成28年度に「世界かんがい施設遺産」（事務局：農水省）に登録、ゆる抜きの水音は、「残したい日本の音風景100選」（環境省）にも選定されています。



【樋門からの放水】
右下は放水前



【雨の中ゆる抜きを見物する人たち】

式典には、浜田香川県知事ほか関係市町の首長、満濃池修築に縁のある方々とともに、中国四国農政局から中国四国農政局次長、地方参事官、農村振興部水利整備課長、四国土地改良調査管理事務所長、香川用水二期農業水利事業所長が出席し、玉串奉納と配水の安全と豊潤を祈願する神事が行われました。

その後、正午に水門が開くと、樋門から勢いよく水が流れ出し、雨の中、訪れた方々は豪快な水しぶきを写真に収めたり、迫力ある水音に耳を傾けたりしていました。

満濃池土地改良区によると、今年は3～4月に雨が少なかったことから、6月15日時点で貯水率は77%（平年値87%）となっており、今後は毎秒5トンの放水を1週間ほど続けた後、天候や稲の生育状況に応じて水量を調整するとのこと。放水は10月初旬まで行われます。

四国土地改良調査管理事務所及び香川用水二期農業水利事業所では、堤防の広場で、香川用水二期地区の改修工事の状況及び農業・農村のめぐみ（多面的機能）等についてパネルで紹介するとともに、パンフレットや手作りの下敷きの配布等、NN事業のPRをしました。



【神事の様子】



【事業PRの様子】